

Feedback: 13

誤解を恐れずに書けば、今でも広島や長崎に放射性物質は残っています。しかし、使われた核物質の量が、あれでも多くなかったため、多くは拡散してしまいました。そのため、今では自然界にもともとある放射線と同程度になっています。

核に関する知識:

放射線は何万年もこのままと言っていたが、今も広島や長崎にもこのままだろうか？ このままだらうとすれば人体に

逆に言って、広島長崎だけでなく、世界中に放射性物質が散らばっているということです。

以来、ウランがトラウマになってしまった私です。ウラン入りの缶詰は本当にあるのでしょうか。そしてそれをずっと身に付けていると視曝(?)し、死んでしまうのですか？ 周りにいた人は

岩石によっては、ウランなどを高濃度含んでいるために、放射線を出します。ウランは一般人は手に入れることができませんが、そうした岩石なら手に入ります。

しかし、一般に、天然放射線は微量です。

科学者と原爆:

一瞬、なんで原爆のきっかけになった湯川さんが責められたいのだったと思った。そういう人がいてもおかしくないとも思っただけで、核を湯川の研究は直接的には原爆とは関係ありません。同じ分野、という理解でいいと思います。

ただ、原爆がどれだけ危険なものであるかは研究の段階で分かって

いたはずなのに、今さら後悔してもすでに核は増えすぎてしまっている

科学者にも、もちろん責任はあります。特に、アインシュタインは、「ナチスドイツが作る前に、アメリカで作ってくれ」と言っていたのですから。

本が何かで読みましたが、そのアインシュタインが、いなくても、まとも何年か年十年か

遅くとも核はつくられていたと思いましたが、そのアインシュタインと湯川秀樹が出

そう考えるとアインシュタインの発見も良し事だとは思えなくなりました。

科学者だけの責任とか、あの発見が悪かった、とか、そう考えたいところです。しかし、実際には、科学の進歩は、やがて全てを暴いてしまいます。

国家と原子力・原爆:

核は持つのは確かに国の先進程度を表すことはできる。

私はアメリカもソ連が憎いです。特にアメリカ。

個人的には、両方ともそうかもしれないと思います。ただ、発展途上国にも頭のいい人がいることを私は知っていますし、アメリカが嫌いでも、人のいいアメリカ人を知っています。湯川がのめり込んだ世界連邦というのは、そうした意識の解体を目指していると思います。個人的には、北島が金メダルをとっても、ノーベル物理学賞をとった人がいても、「日本が何人目」とは思わず、純粋に「彼らが個人的にすごいんだ」と思うことにしています。

とだが、一度手にした力を捨てるのは、捨てるより勇気がいります

ことを思う。ガンジーの「非暴力不服従」こそが、最も勇気のある行動だと思っています。負けそうになって強い武器を手に入れようとするに比べて、どれだけの勇気があることか。

わたしたちと原子力:

歴史の授業が何かで「核抑止論」について教わった気がする。その時は必く納得して、それが結果的に戦争につながるからいいのであれば良し事だ。と自分の中に入。そして、必要悪なのだろうと漠然と考えてい

私は原爆史料館に行ったことがあるのですが、見ていなくて足早に出てきたよほえがあります

なく、原子爆弾をつくらした人、それを落とすことを決めた人、落とすおぼろなことをした人

多くの人に責任があると私は思った。おぼろは世界から戦争がなくなり、みんなが幸せに生活できよう安全なところにならばいいと小さい頃から思っていました。そのためには科学、物理

私たちは何を学び、何を考えるべきなのか。